

アバターアーティスト育成番組を共同制作！

世界的メタバースコミュニティでオーディションも開催

韓国「ZEPETO」と戦略的パートナーシップ締結



フジテレビは、全世界で4億 6000 万人が参加するアバターコミュニティ「ZEPETO(ゼペット)」と、戦略的パートナーシップを締結し、ZEPETO を中心に活動するアバターアーティスト育成プロジェクト「超越のゆにばーす『シャーピゆる#』ーイクボアバター育成計画ー」を開始することに合意した。

韓国・NAVER Z Corporation(以下、NAVER Z)が運営する ZEPETO は、スマホアプリで簡単に理想の 3D アバターを生成でき、メイクや着せ替え、コミュニケーションを仮想空間上で楽しめる。アバターのポーズやダンスを SNS で公開できたり、アバター同士でチャットや音声、メッセージ、ライブ配信、ゲームによる交流ができたりと、メタバース上でアバターを軸としたソーシャル機能も体験できる。さらに、作成した「3D アバターは、髪型や体型などもユーザーの嗜好に合わせてカスタマイズでき、

ZEPETO 内で着られる衣装のデジタルアイテムを制作・販売することも可能。自由に自己表現をしたい多くのα世代、Z世代のユーザーが集まっているプラットフォームだ。

アバターアーティストの育成プロジェクト「超越のゆにばーす『シャーぴゆる#』ーイケボアバター育成計画」では、まず、声優アーティストオーディションを開催。アバターに声優が声を吹き込み、その歌声などを審査する。優勝した声優は、ZEPETO を中心に活動するアバターアーティストとなり、世界デビューを目指していく。このオーディションの様子は共同制作で番組にもする予定だ。このプロジェクトは、ZEPETO で今年7月より提供が開始された 2D アバターで行われる。日本アニメーション文化の世界的浸透や VTuber 市場の急拡大の影響もあって、この 2D アバターは幅広くユーザーの支持を受けており、ローンチして1カ月でカスタマイズされた 2D アバターが約 2330 万回保存されるなど大きな反響を呼んでいる。

フジテレビは、ZEPETO コミュニティの熱量やコンテンツの拡張性に可能性を感じ、NAVER Z と戦略的パートナーシップを構築。両社でエンタメ市場における更なる企業価値拡大を目指していく。このプロジェクトの詳細には、今後、順次発表していく予定だ。

コメント

◆大多亮(フジテレビ専務取締役)

「ZEPETO との業務提携により、メタバースの仮想空間にフジテレビの良質なコンテンツ制作力を活かしたグローバルビジネスを展開できることを大変うれしく思います。特に多くのα世代、Z世代のユーザーが集まっているメタバース空間にアクセスすることで、その世代にそのコンテンツを訴求できると考えています。このプロジェクトは準備段階から日韓の働き方の違いから生まれる様々な困難、アバターコンテンツ制作という新たなジャンルへ挑戦が待ち構えていました。しかし、国の垣根を超え、両国のスペシャリストが揃った結果、これまでにない新たな作品が誕生すると期待しています。そして、オーディションで誕生したアバターアーティストは、日本を皮切りに、世界で活躍してくれるものと確信しています」

◆カン・ヒソク(NAVER Z ビジネス総括リーダー)

「アバターアーティスト育成プロジェクトで、フジテレビとの素晴らしいコラボレーションを発表できることをうれしく思います。NAVER Z は常にアバター技術の最前線に立ち、アバターのユースケースをエンターテインメントの世界へと拡大するパートナーを探していました。フジテレビが持つ多様なコンテンツの品質とエンターテインメント性には、かねてより注目していましたが、そのフジテレビと協業できることになり、とても興奮しています。我々は、メタバース空間でクリエイティブ表現とエンターテインメントの限界を広げるべく取り組んでいますが、今回のパートナーシップは、その重要な節目となるはず。私たちはリアルの世界とメタバースの世界を融合させながら、これまでにない方法でバーチャル・アーティストに命を吹き込むことを目指しています。4億 6000 万人を超える世界中の ZEPETO ユーザーと、このプロジェクトを共有するのが待ちきれません」